

## とにかくよく咲くコスモス チェリーチョコレート

### 特徴

スッと伸びた長い花茎にシックな赤紫の美しい花がたくさん咲き、風に揺れる花姿が魅力的な宿根草です。ほんのりと甘いチョコレートの香りが楽しめます。草丈はコンパクトでまとまりがよく、開花は早咲き、多花性の植物です。

### 用途

鉢植えがおすすめ、寄せ植えにもOKです。地植えの場合、寒冷地では難しいですが、関東以西なら可能な地域もあります。

### 開花期／関東基準

5月～11月（真夏は休みますが、秋からたくさん咲きます）  
晩夏に切り戻しをすると、秋遅くまで長く花が楽しめます。  
草丈は30～50cm くらい。

### 植え付け・用土

#### ✓ 鉢植えの場合

→ 6～8号鉢がおすすめ

用土は、排水がよく緩効性の元肥が入っている物がよいでしょう。

#### ✓ 地植えの場合

→ 日当たりと水はけのよい場所を選びましょう

地植えの場合は日当たりと水はけのよい場所を選び、堆肥や緩効性肥料を入れて耕して植えつけるとよいでしょう。耐寒性がそれほどないので、地植えには早朝の温度がマイナス5℃くらいまでの地域が適しています。

## ☀️ 置き場所：風通しのよい日なたに

初夏：風通しのよい日なたに置きましょう。

**真夏：風通しのよい半日陰、あるいは、午前中は日なた、午後からは日陰**がよいでしょう。

※夏はコンクリートなどに直接置かずスタンド台などの上に置き、風通しと地面からの熱を避けましょう。

秋：9月中旬からは、風通しのよい日なたに置きましょう。

冬：地上部が枯れて休眠をするので、早朝の数時間の温度がマイナス5℃位までなら軒下に置けば大丈夫です。

それより寒い地域は、室内へ入れておきましょう。

### 耐暑性：夏越し

夏越しはできますが、置き場所がポイントになります。真夏の高湿多湿による蒸れにはやや弱いので、半日陰や午後から日陰になる場所に置いて夏越しをさせましょう。



### 💧 水やり：乾いてからタップリと

鉢植えは、表面の用土が乾いてから、タップリと水やりをしましょう。乾いてない状態で少しずつやるのは良くありません、**乾いたらタップリ**が基本です。特に夏は高温多湿が苦手なので、水のやり過ぎに注意です。夏の水やりは、朝や夕方の涼しい時間帯に行う方がよいでしょう。

**冬**、地上部が枯れても根は生きています。完全に乾いてしまうと枯れてしまいますので、表面の用土が乾いたら軽めに湿る程度の水やりをしましょう。

### 🌱 追肥

初夏の植え付け時に緩効性肥料が入っていれば、秋まで追肥は必要ありません。

秋に良い花を咲かせるために、9月中旬頃に追肥をし、その後も月1回の追肥をしましょう。

\*翌年の春、大きく育ってきたら、花が咲く前に追肥をしましょう。

### ✂️ お手入れ

咲き終わった花は、長い花茎の元で切り取りましょう。

同じ元から2本位花が咲いている場合には、その下の節で切るとよいでしょう。

**晩夏(8月中下旬頃)**に株元から10~15センチ位で切り戻しをしましょう。これにより、秋にたくさんに花が咲いてきます。

### 耐寒性：冬越し

**耐寒性はそれほど強くありません。**

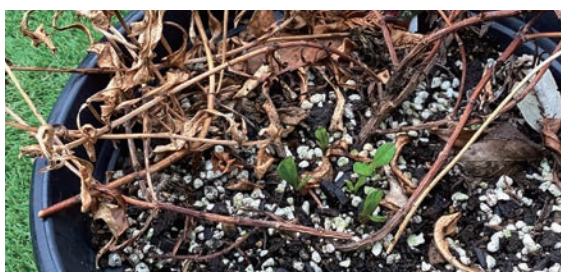
冬は地上部が完全に枯れて越冬しますが、霜に当たったり凍結すると枯れてしまいます。初冬に枯れた茎は切り戻しをしないで、保温も兼ねてそのままにしておきましょう。

早朝の数時間の温度がマイナス5℃位までなら、霜の当たらない軒下で冬越しできます。(一回り大きな外鉢に入れておくとも保温効果もあります。) それより寒い地域は冬の間は室内へ入れておきましょう。関東以西で地植えした場合でも、腐葉土などでマルチングをして霜や凍結を避けましょう。

**3月中旬頃**に、下から新芽が出てくる(千葉県北西部では)ので、日当たりのよい場所へ置きましょう。枯れた茎や葉は、新芽を傷つけない様に取り除いておきます。

新芽が大きく育ってきたら追肥をしましょう。(前年に6号鉢に植えた場合には、8号に植え替えるとよいでしょう。)

千葉県北西部では、4月中旬に追肥をしたら、下旬には蕾が出てきて、5月上旬には開花がはじまりました。



←3月中旬/芽吹き